



江戸時代に、
おじゃまします。



開成町 瀬戸屋敷 ひなまつり

2月17日(土)から3月3日(日)にかけて、築300年の古民家瀬戸屋敷で「開成町瀬戸屋敷ひなまつり」が開催されました。

会場には、開成町婦人会による手作りの「つるし雛」や瀬戸屋敷収蔵の雛人形の数々、300年前の「享保雛」など計8,000個以上が飾られ、瀬戸屋敷が色鮮やかに染まりました。

また、土蔵では高さ2.4mの「大つるし雛」や、開成南小学校の児童が制作した「自由雛」を飾った竹灯籠のタワーなど、迫力のある展示が来場者を迎えました。

2月24日(土)・3月2日(土)には夜のライトアップと雛飾りのコラボレーション「ひなまつりナイトミュージアム」が開催され、来場者は普段とは違う瀬戸屋敷の雰囲気を楽しんでいました。

